

事業所名 リハビリテーション颯 みずの

運営推進会議等開催報告書

開催日時 令和4年9月（新型コロナウイルス拡大防止のため文書にて回覧）		
参加者		議題
利用者	1名	1. 運営状況 ・デイサービス/介護度別年間利用者数一覧 ・当月利用状況(2022年8月末)
利用者家族	1名	
地域住民の代表者	2名	
市職員	1名	
地域包括支援センター職員	1名	2. リハビリテーション颯みずのの取り組み
事業所	2名	
3. 感染対策について		
4. ご意見・質問照会		
会 議 録		
1. 運営状況		
<p>2022年8月末時点での登録者数88名、一回当たり平均利用人数9名、直近8月の延べ利用者数は22営業日で429名の方にご利用いただきました。</p>		
2. リハビリテーション颯 みずのの取り組み		
<p>「足を動かさないと歩けなくなる」、身体を動かさないと筋肉の衰え、それに伴い循環器系の機能が低下し、体力が落ちていきます。体力の衰えを予防するため身体を動かす事を主体としていますが、脳への刺激を主体とした時間をつくっています。「心身活動の活性化」、心と体の両極の向上を意識したサービス提供の必要性を感じ、運動プログラム終了後にホワイトボードを使って、「脳を刺激するプログラム＝脳の活性化・柔軟性向上」を実施する事としました。</p>		
3. 感染症対策について		
〈基本方針〉		
「高齢者介護施設における感染対策(一般社団法人日本環境感染学会)」に準じて実施している。		
〈事業所内対策〉		
<ul style="list-style-type: none"> ・フェイスシールド必要時装着 ・自動扉をOFFにし15cm程度開けて常時換気、室内4か所換気扇常時使用 ・一日二度トイレ清掃 ・利用者退去後、テーブル、椅子、ベッド、訓練器具等の消毒 ・手指消毒液の常時携帯と適宜使用 ・利用者における自宅での検温チェック ・送迎時の車内は常時窓を開けて換気走行 ・送迎車のエアコンは常時外循環モードで使用 ・利用者乗車前に検温と手指消毒 ・送迎車は送迎前後に消毒 ・事業所到着時における手指消毒 ・マスクを持っていない方への支給 ・不要不急の会議・研修等への出席見合わせ 		

- 職員は毎朝の検温、体調チェックを行いアプリで報告
- 帰りの歌は中止し、音楽に合わせて手拍子・グーチョキパーを行う

4. ご意見・質問照会

質問 1. プログラムの様子について

体を動かすトレーニングに加え、脳刺激トレーニングを取り入れたことで利用者様の様子等の変化について、具体的に教えていただきたいです。また、健康四方山話の時のご利用者様の発言や印象的なエピソード等があれば、可能な限りで構いませんので教えてください。

〈回答〉脳刺激トレーニングを取り入れたことによるご利用者様の変化については漢字読み仮名クイズを出題した際、ご利用者様から「もっと（読めない）難しい問題（漢字）を出してほしいわ。」とご意見をいただきました。普段、使うことが少ない漢字を出題した時、そのクラスのご利用者様は、その漢字を宿題として自宅に持ち帰り、次のご利用日、挨拶と同時に答えをスタッフに教えてくださいました。他のご利用者様同士で、その漢字についての会話も広がり、雑談で談笑される場面も増えました。考えることで脳への刺激を与え、この「頭の柔軟体操」を通して、ご利用者様同士の世間話もよくされるようになったと感じます。

また、健康四方山話の時のご利用者様の発言、印象的なエピソードについては机上での動作、家事、庭仕事等、いずれも手を前に出して作業をすることが多く、普段の生活から知らず知らずのうちに円背姿勢を促してしまう事があります。いわゆる「猫背」の話をしたときに、普段からの家事を一生懸命されている方から、「コップを持つだけで腰が曲がって、すぐに疲れるの…」と、その方から「どんな運動をすればいいの？」と改めて質問がありました。普段から行っている、ローイングマシン（肩甲骨を寄せたり開いたりすることで背中筋を効率よく使って姿勢改善が期待できるマシン）の効果や正しい姿勢での使い方、身体を動かしている筋肉を意識することが重要ということをご利用者様と一緒に再確認することが出来ました。この話をした後、ご利用者様にマシンを使っていたら、動かしている肩甲骨周囲の筋肉を意識して動かしたところ、今までと違ったところが疲れる等の感想をいただきました。次の利用日には、「背中、意識して家事をしているわよ」と前向きな発言もいただいています。決められたマシンやリハビリ機器を毎回行うため、ややマンネリ化してしまう事がありました。この「健康四方山話」をキッカケにご利用者様、スタッフも刺激になり、普段行っている運動やマシンも新たな気持ちで取り組めるようになったのではないかと考えています。

【次回：令和4年9月頃開催予定】